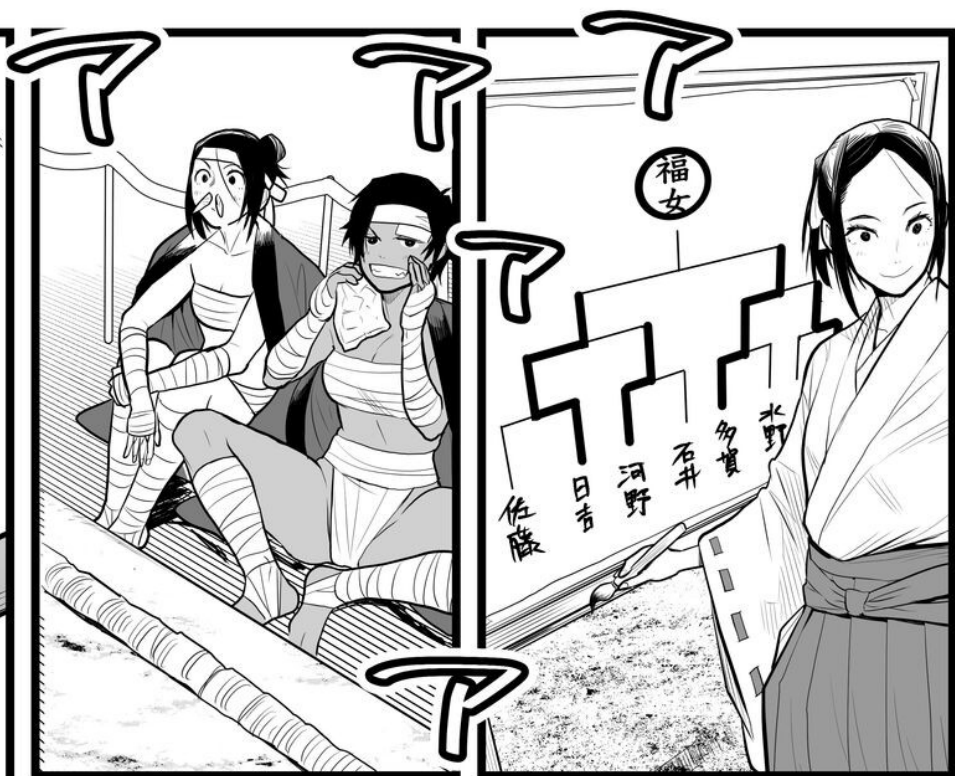


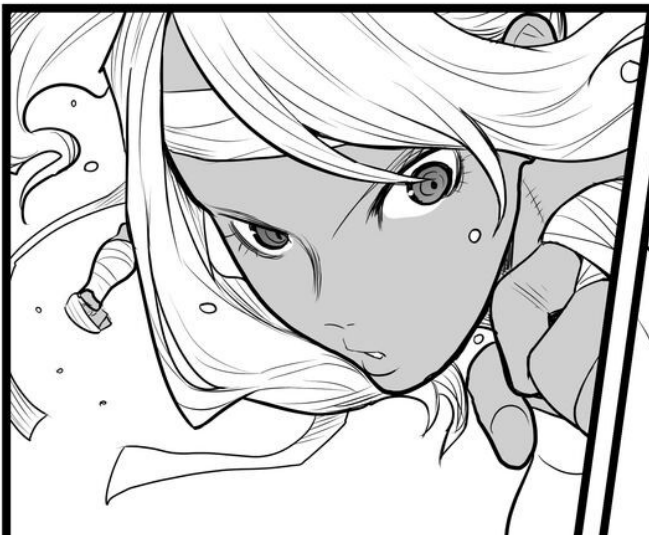


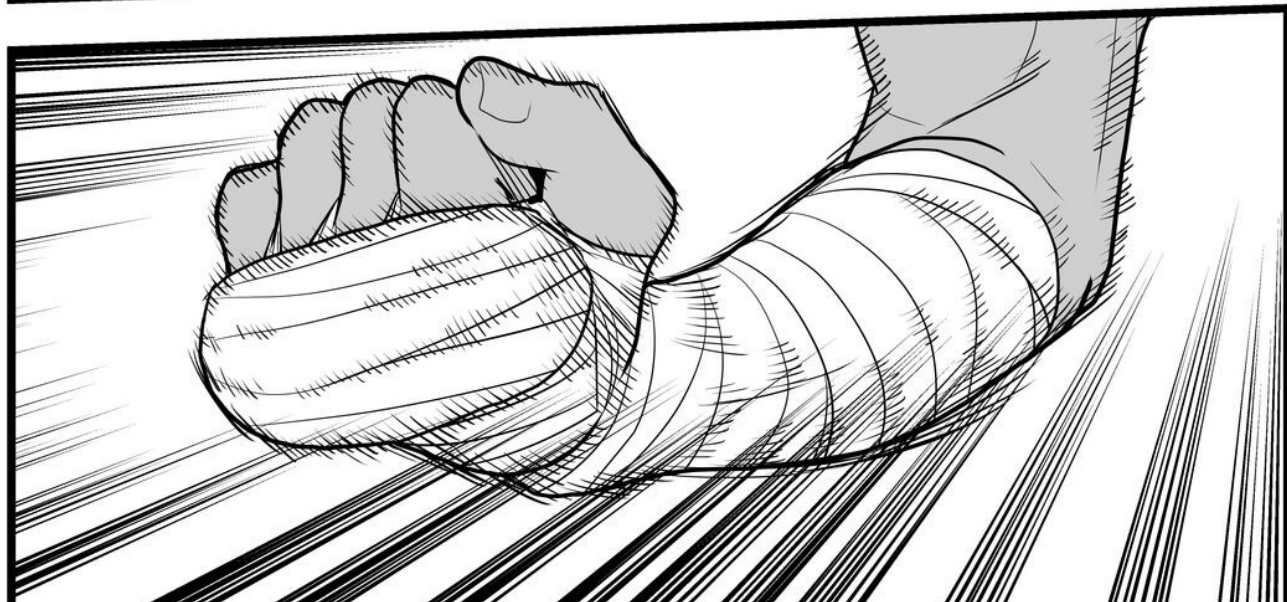
福

!

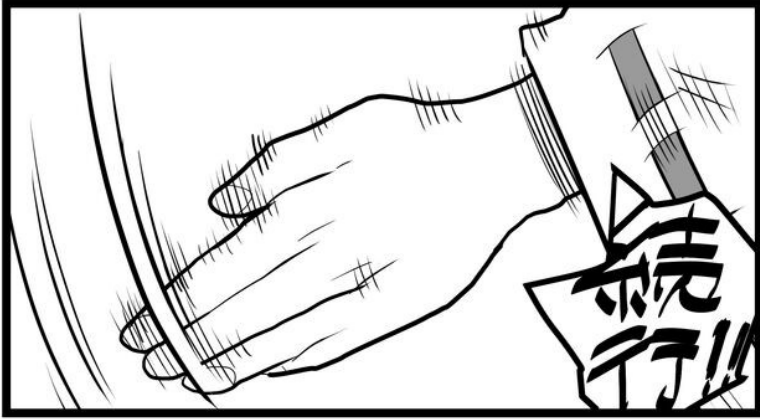
折鶴

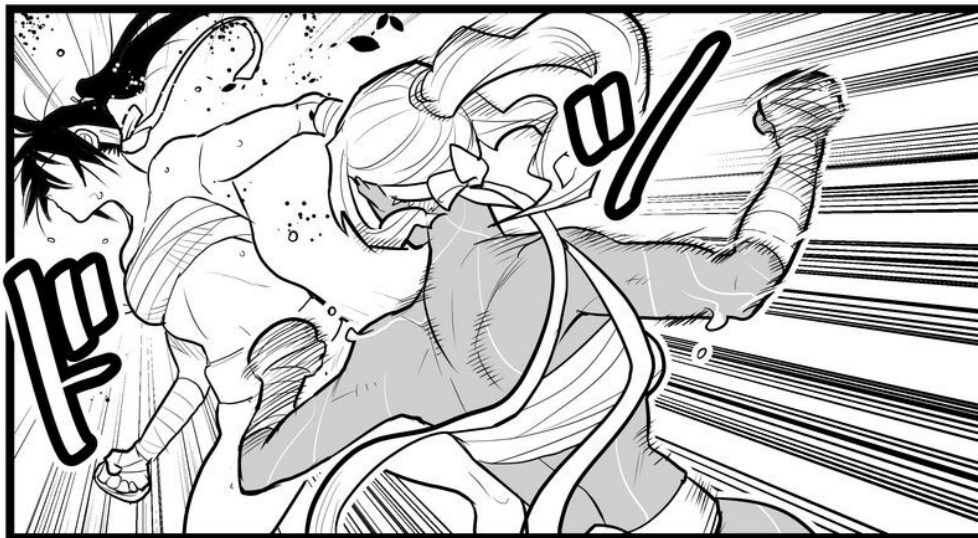


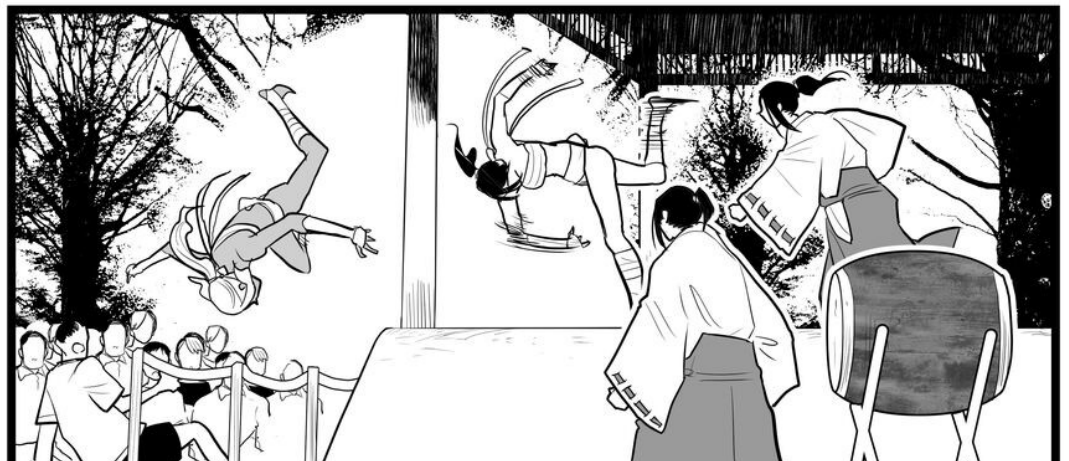
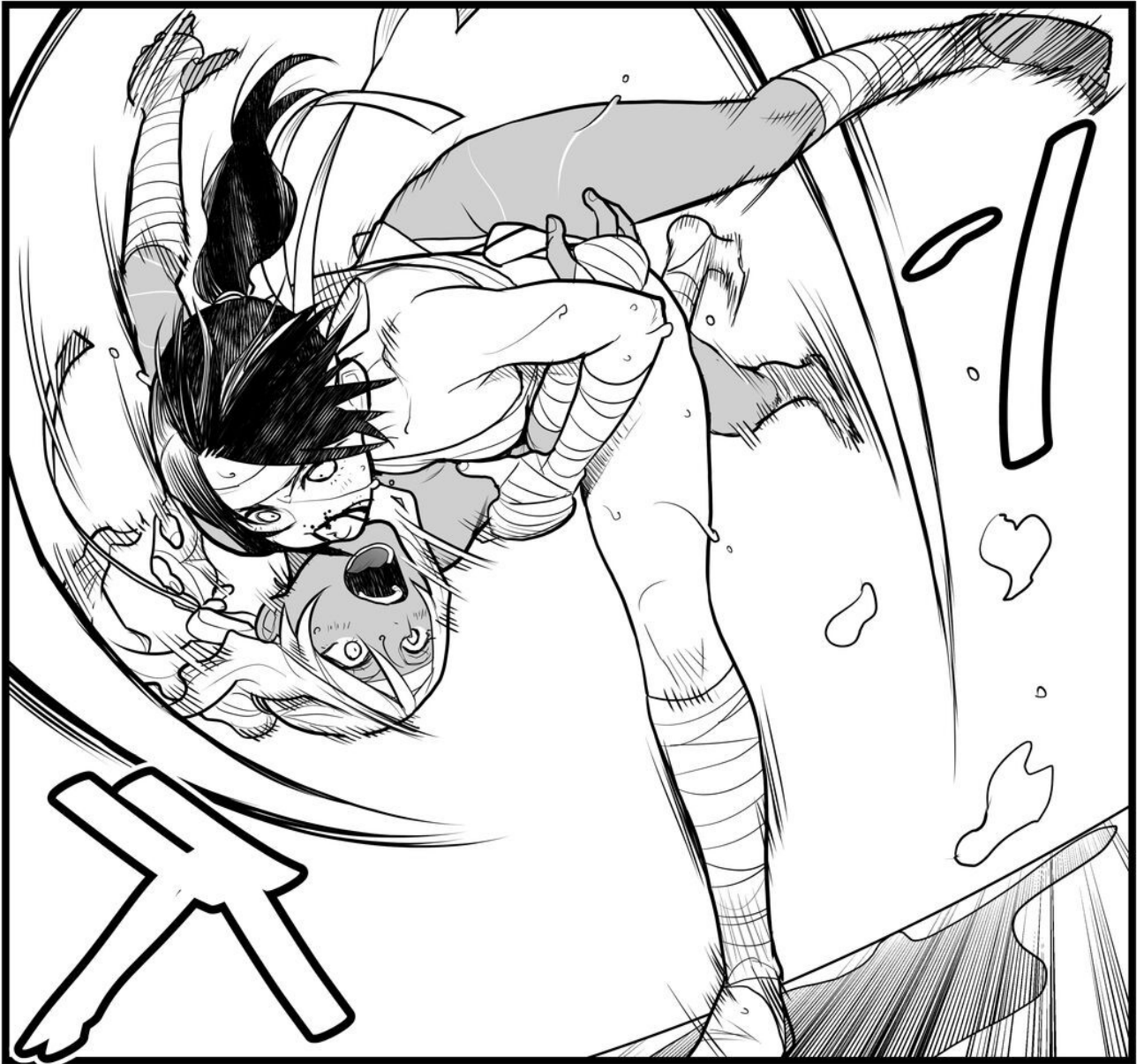




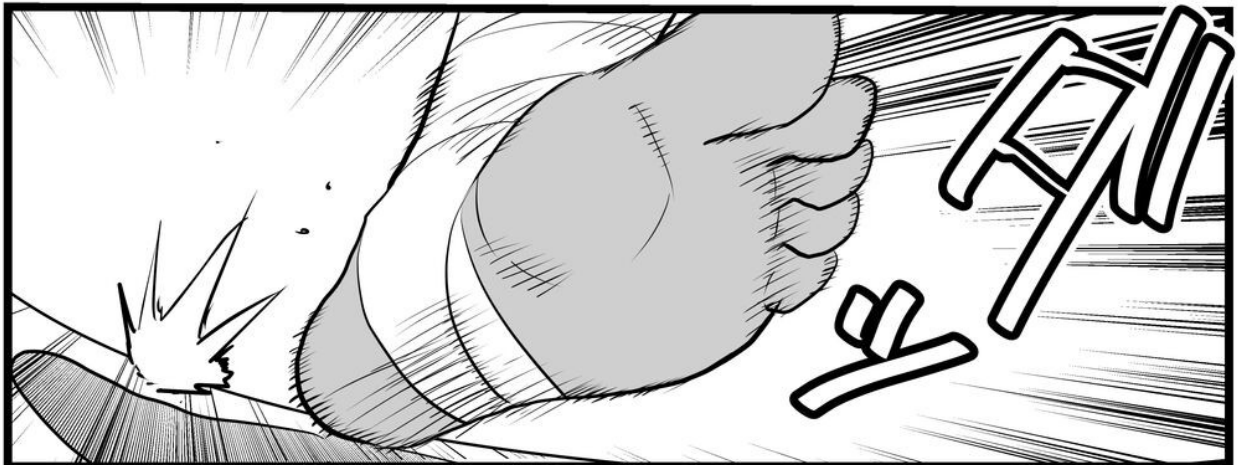
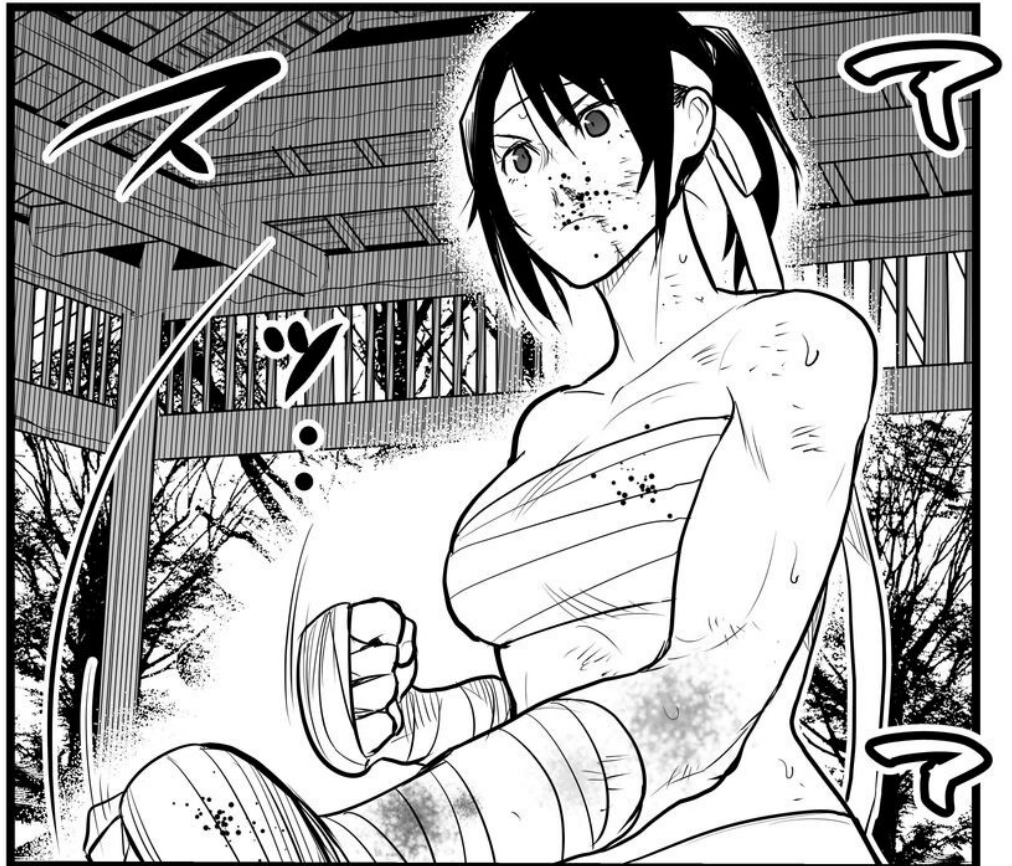
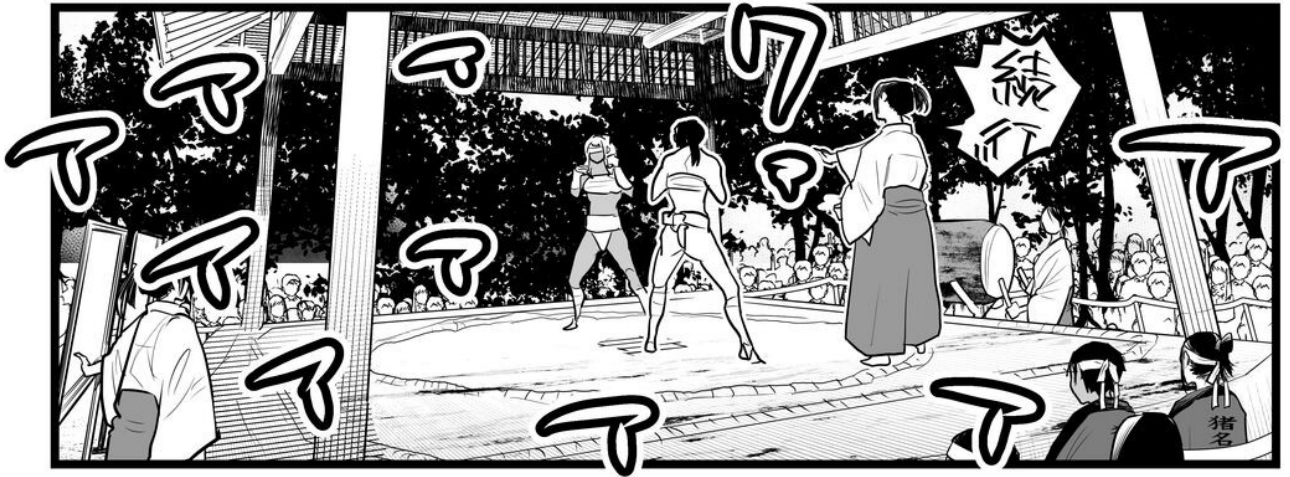


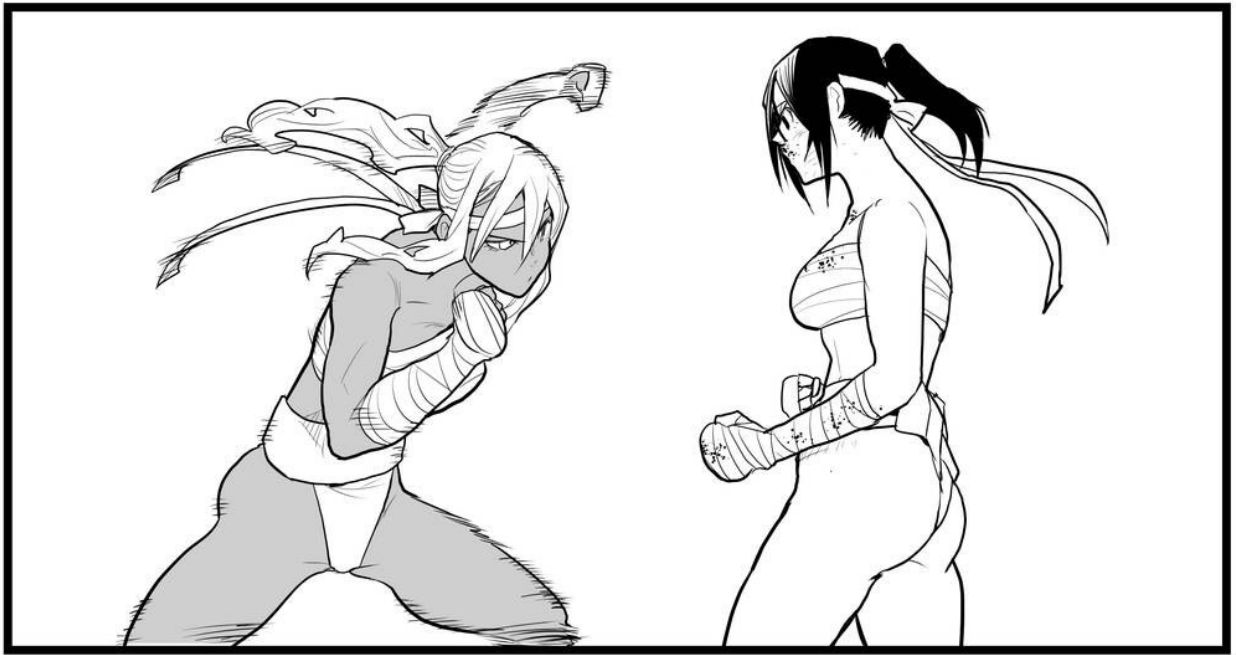








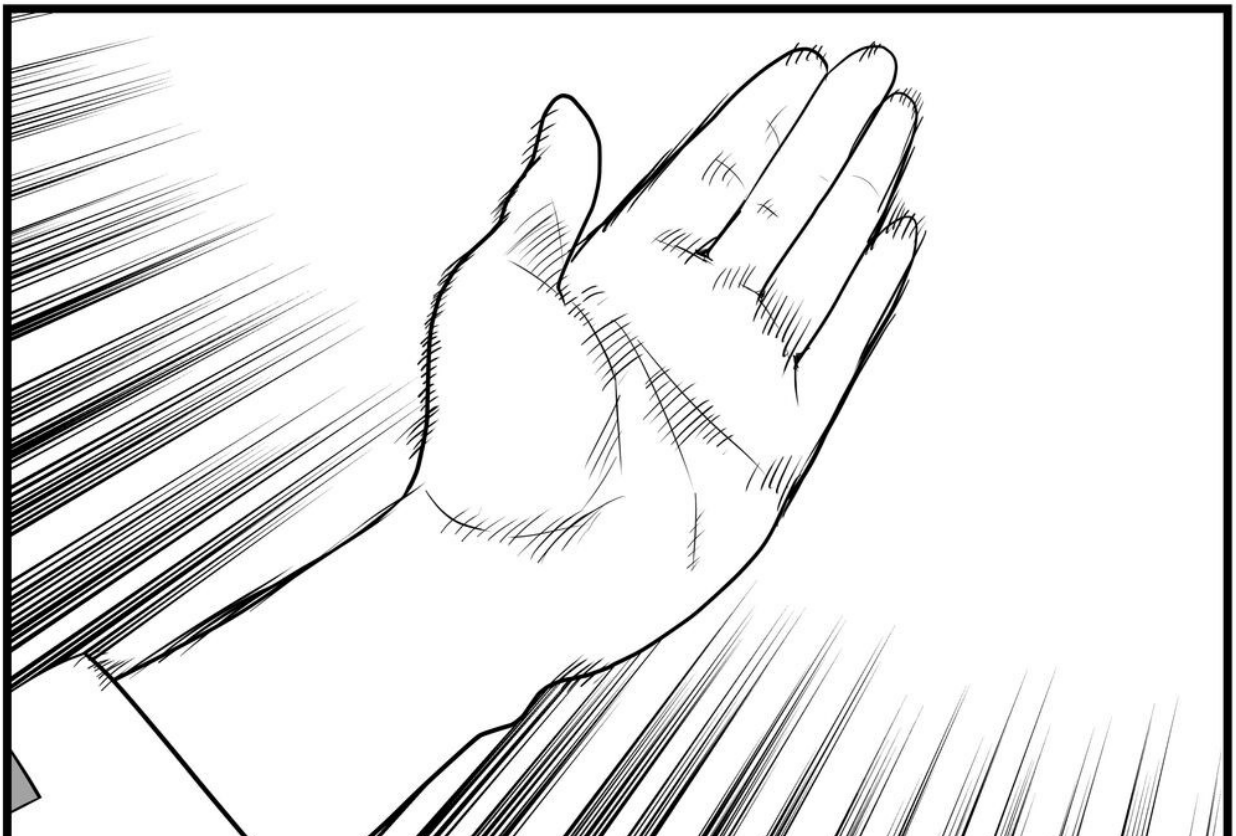


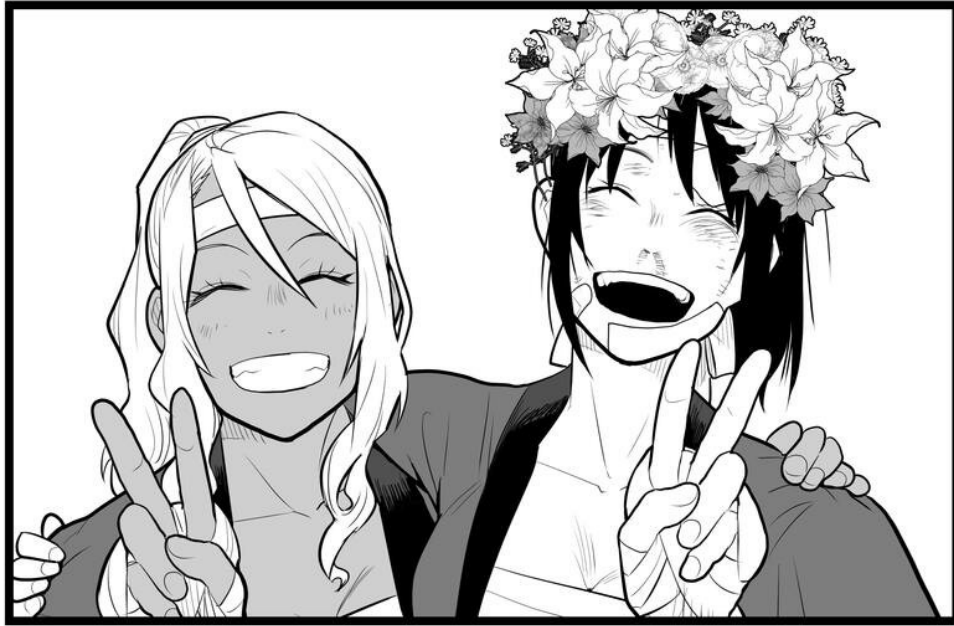












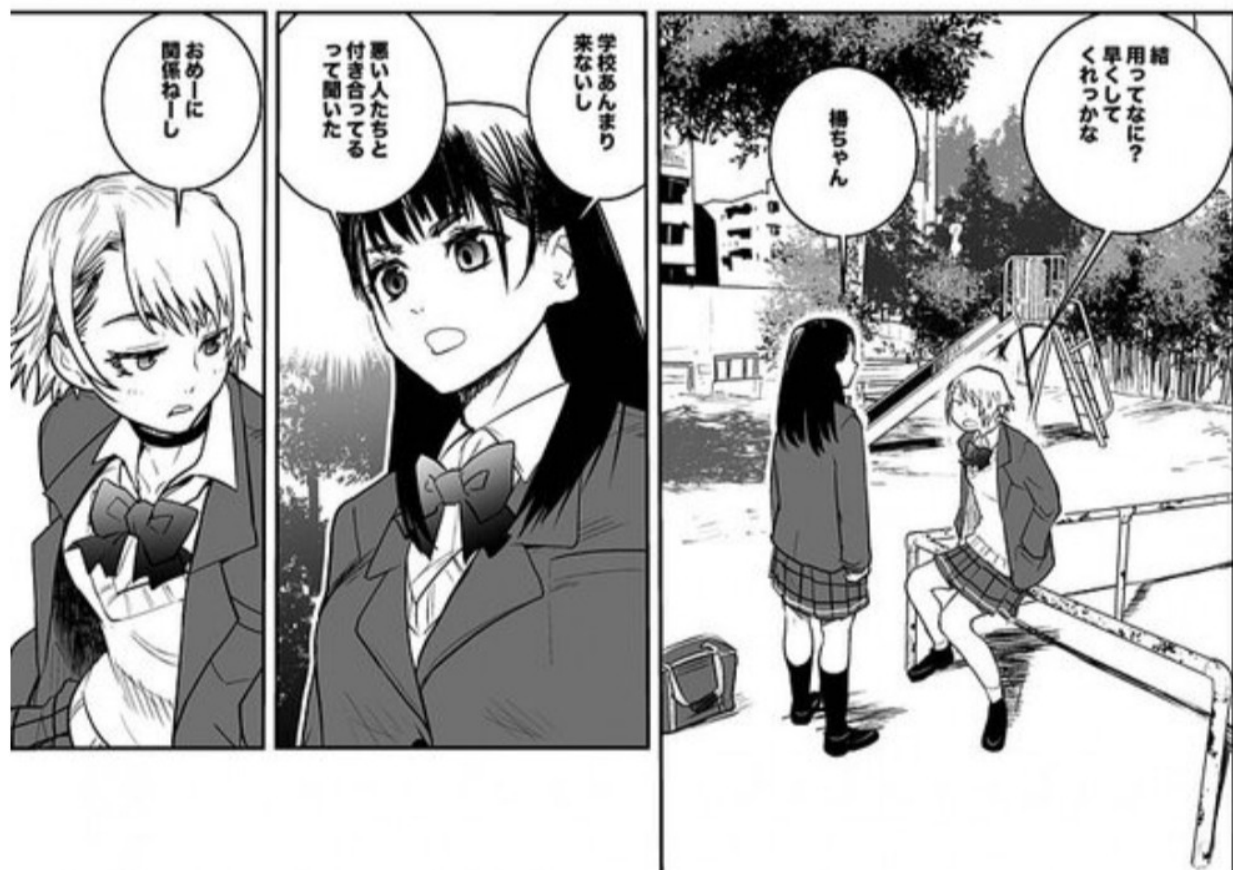
雄略天皇十三年、木工職人の猪名部真音は雄略天皇に
「何があっても刃先を誤らない」と豪語した
天皇は采女(女官)たちを真根の仕事場に集め、衣服を脱がし
禪をはかせて相撲をとらせた
その様子に見とれた真根は思わず刃先を誤ってしまった
天皇は真根を処刑しようとしたが、彼が持つ墨縄の技術を
惜しんだ仲間の歌を聞き、中止させた
なお「相撲」の文字は、『日本書紀』におけるこの顛末に登場する
ものが文献上の初出である
猪名部真根を祀る猪名部墨縄神社では、この故事にちなみ、
古くから五年に一度、例大祭で采女相撲の大会を開いている
優勝者は「福女」とされ、「福女まつり」とも呼ばれる
三本先取制や殴打、関節技、締め技の使用が許されているなど
一般的な相撲と大きく異なるが、いつからこのような形式と
なったのかは不詳



公園組手



藤田 かくじ

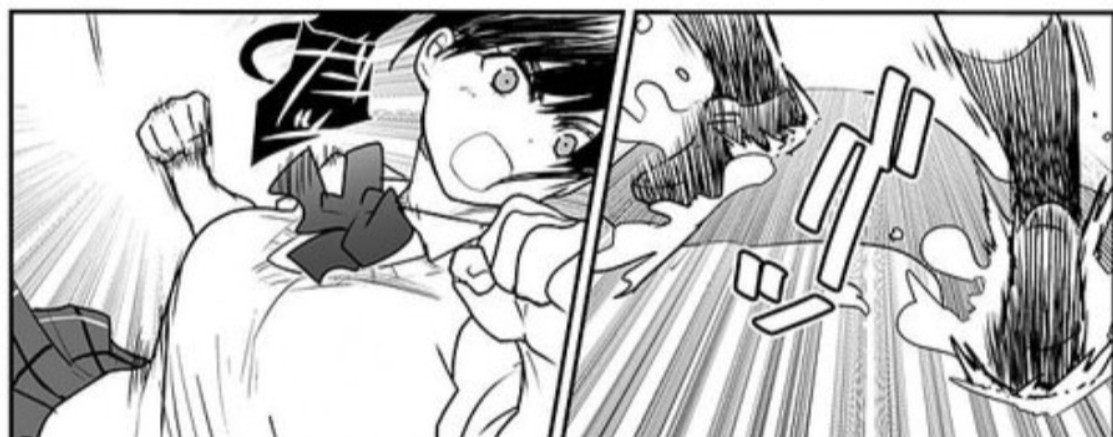








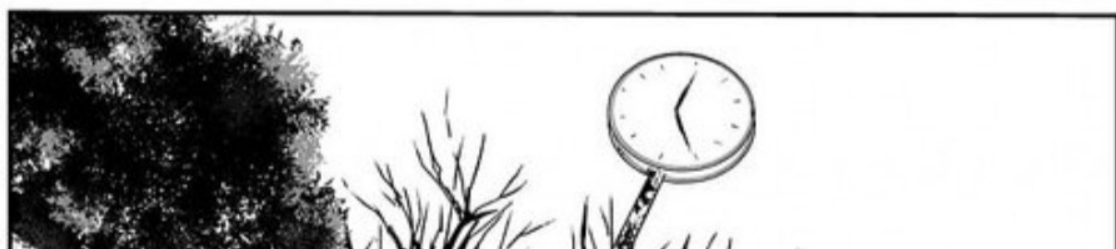


















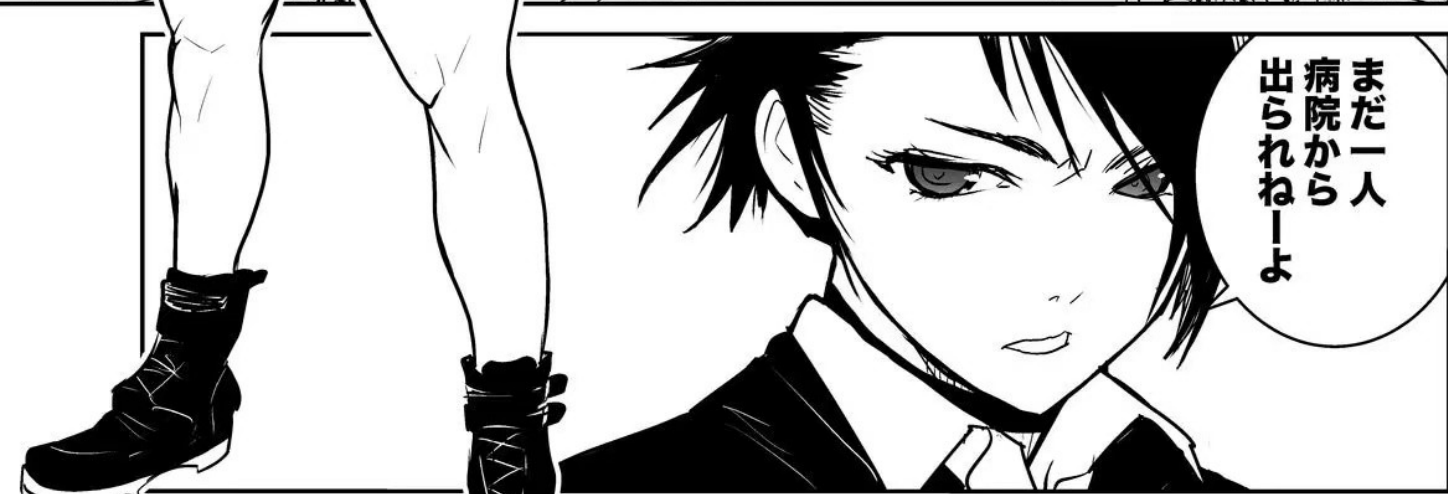




かかガガガ



私の仲間
やっつて
くれたな



まだ一人
病院から
出られねーよ



えっ
だつてっ

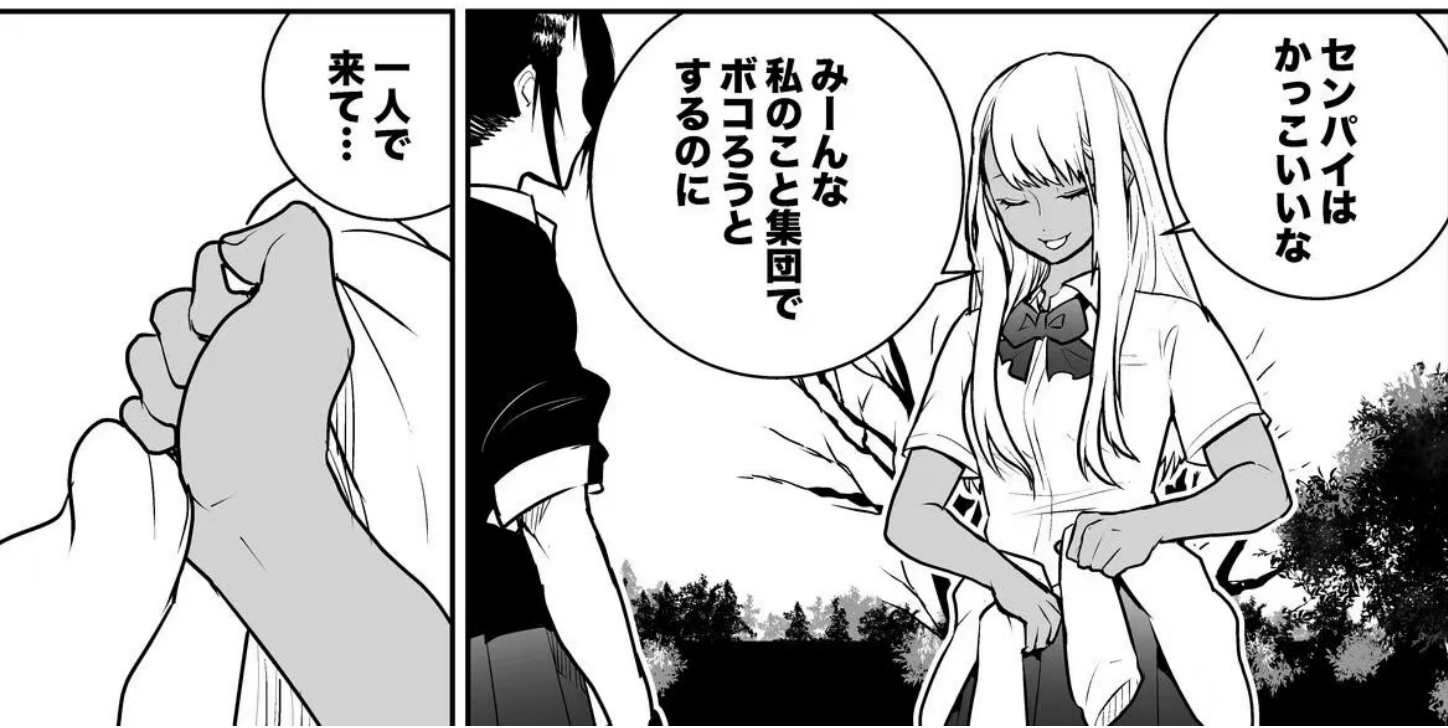




ケジメは
つけさせて
もらおうぞ



いッスよ!



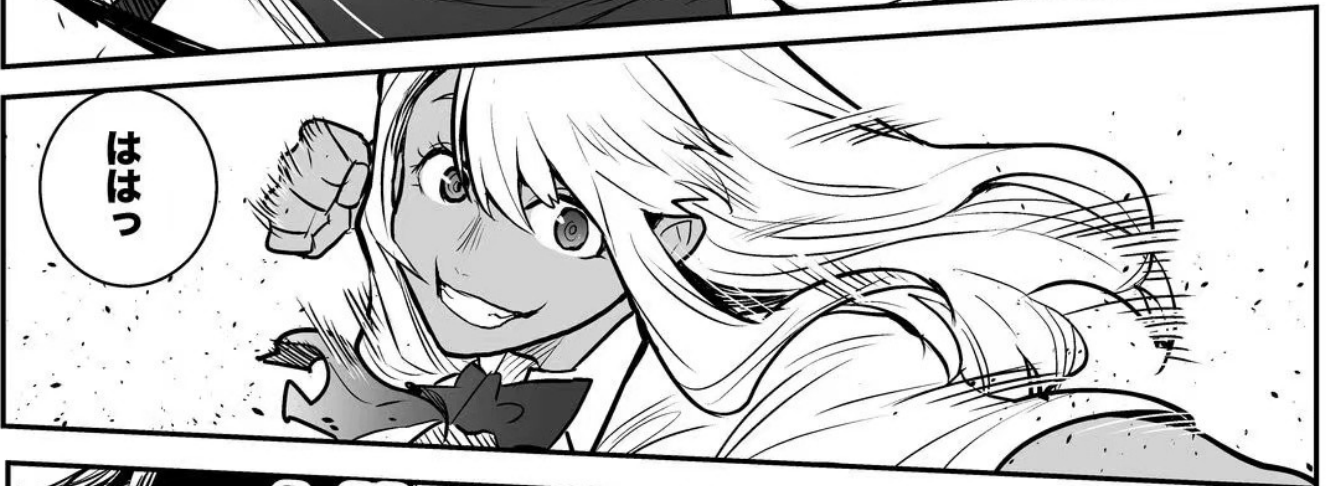
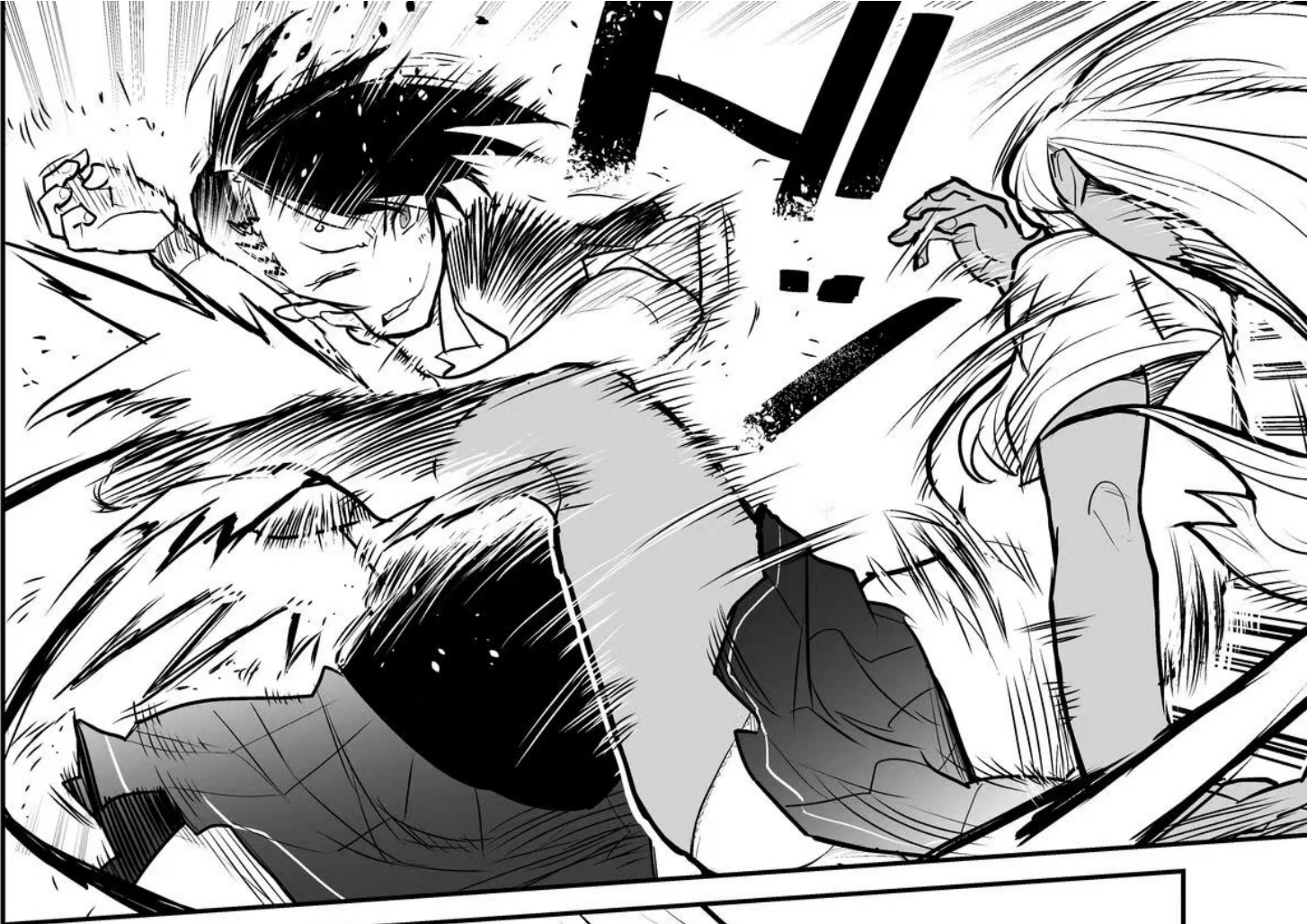
センパイは
かっこいいな

みーんな
私のこと集団で
ボコろうと
するのにな

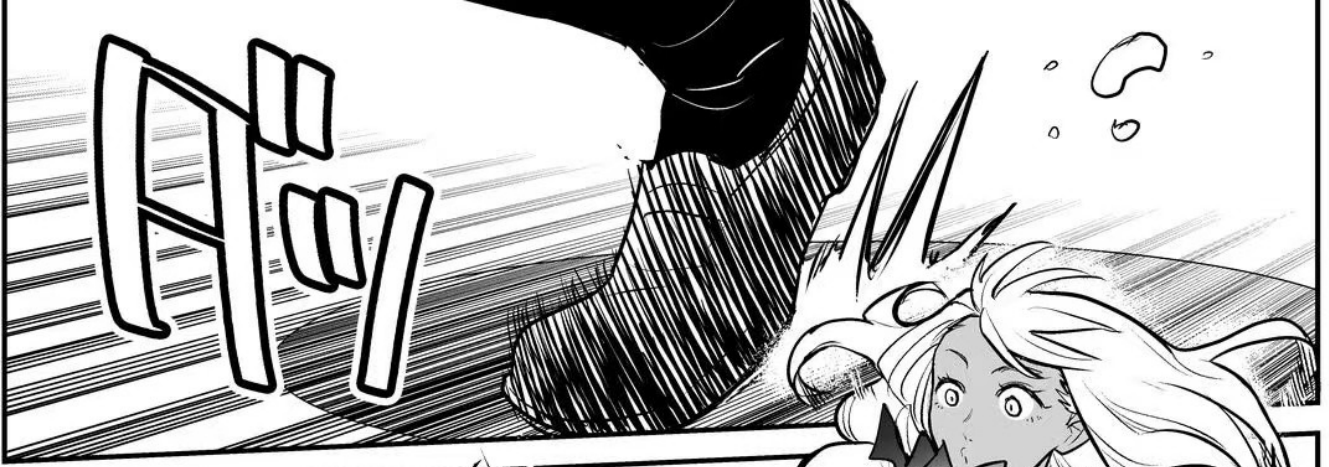
一人で
来て…

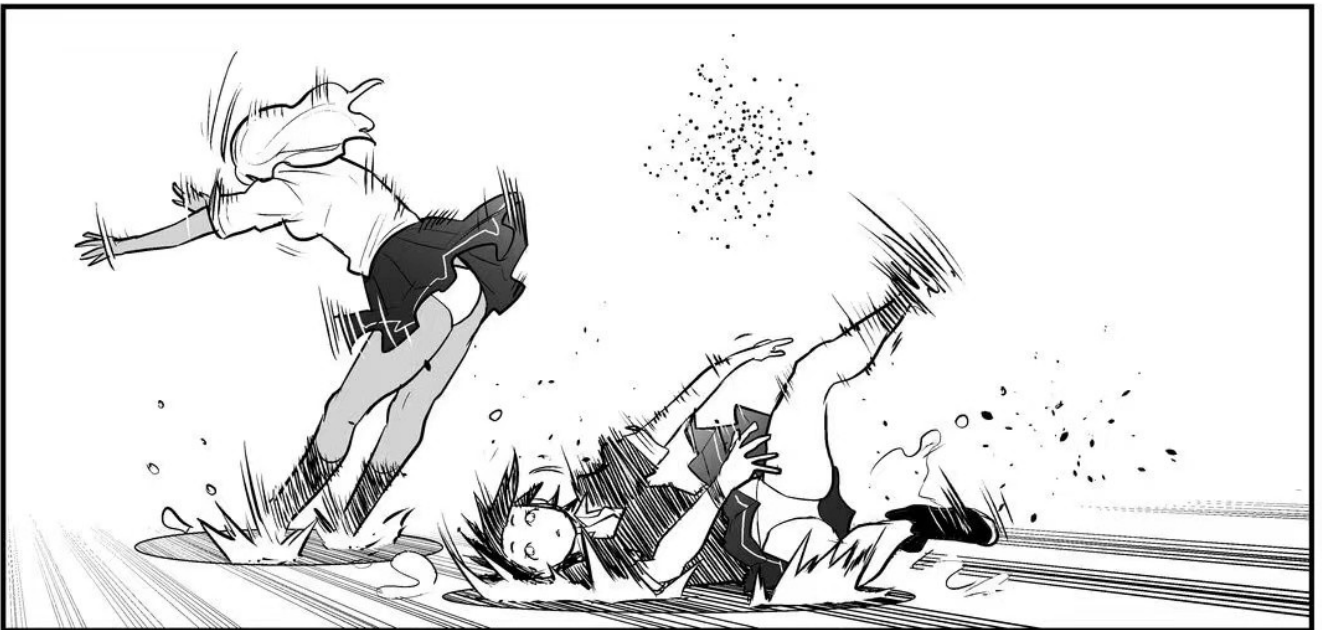
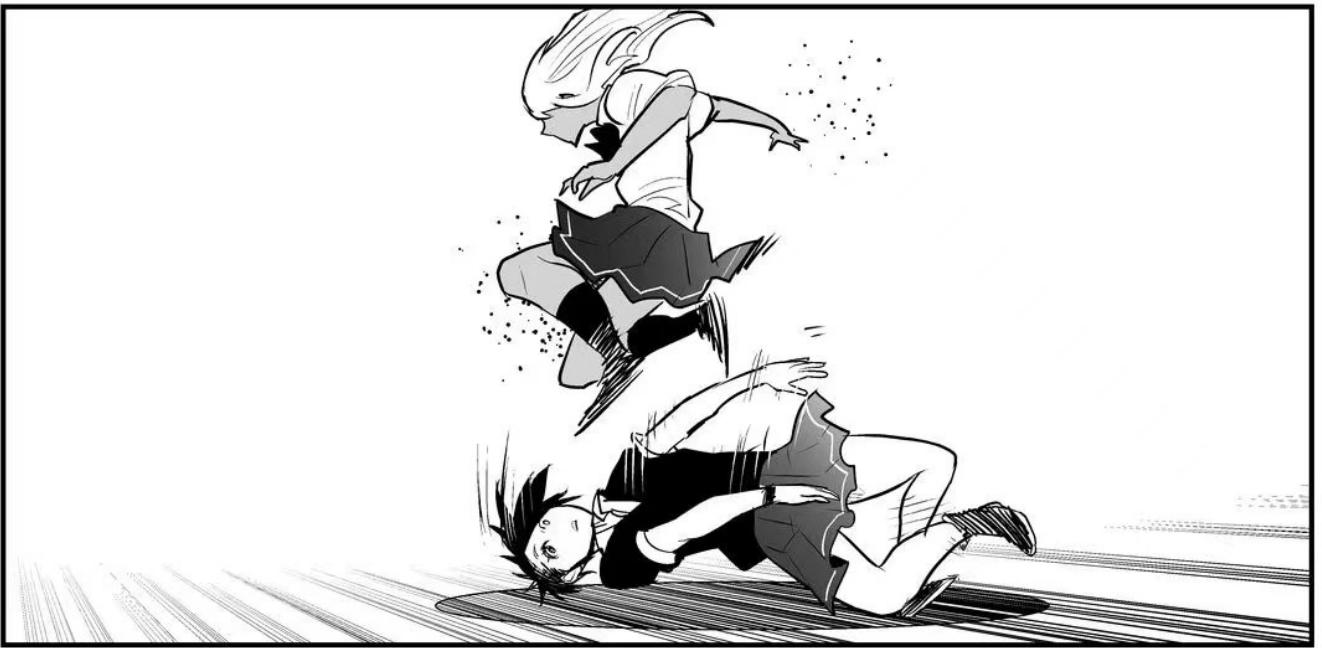




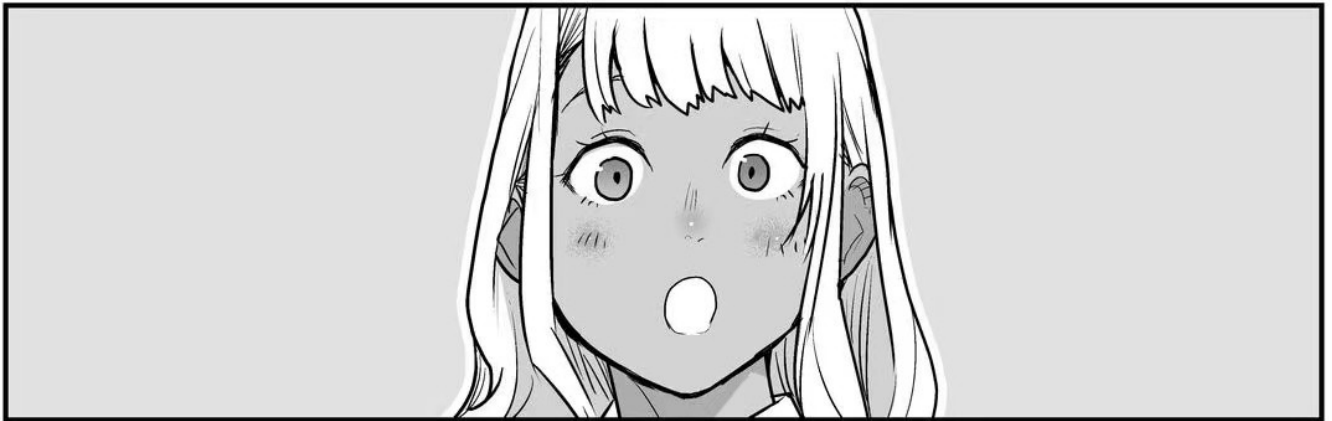
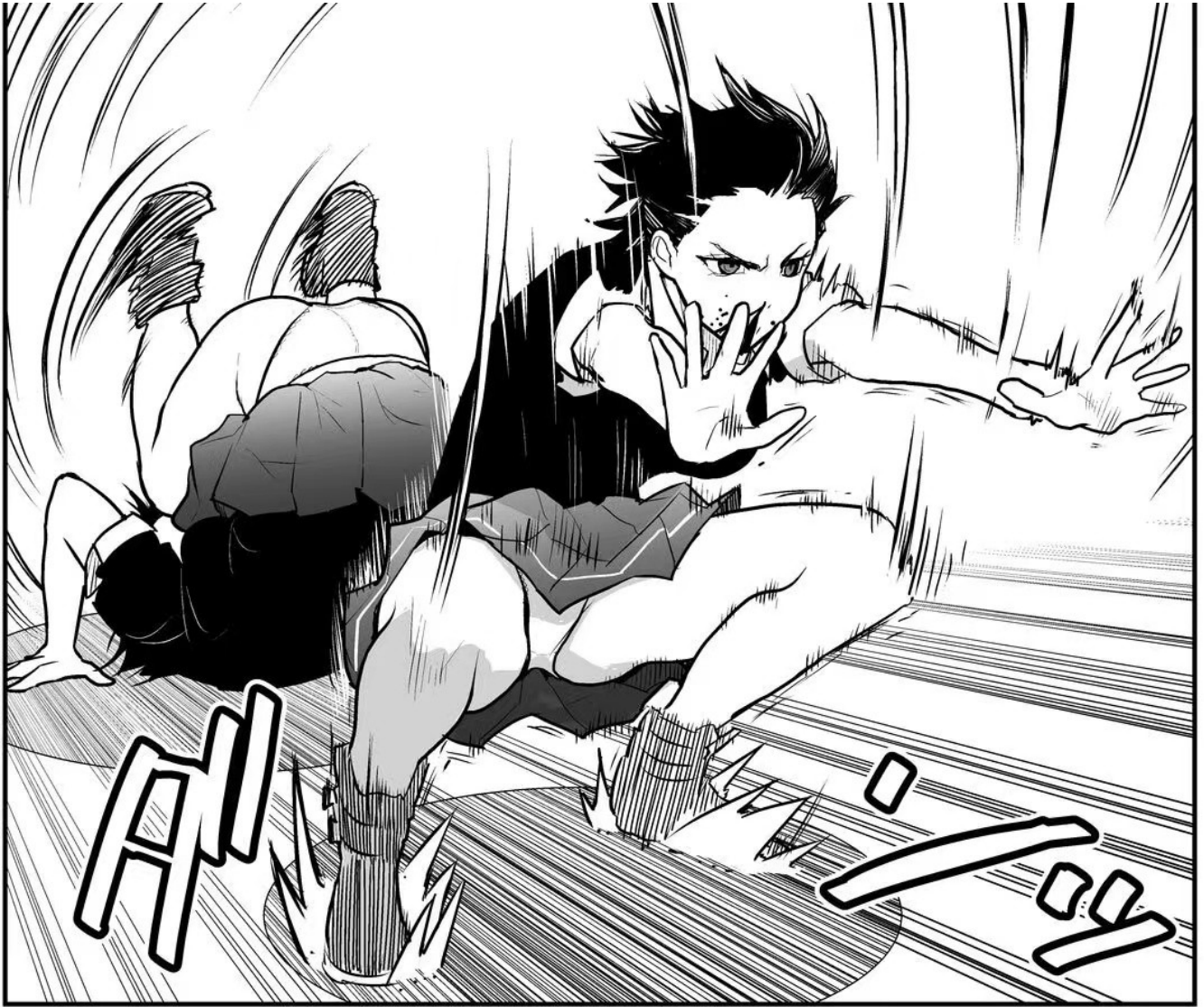




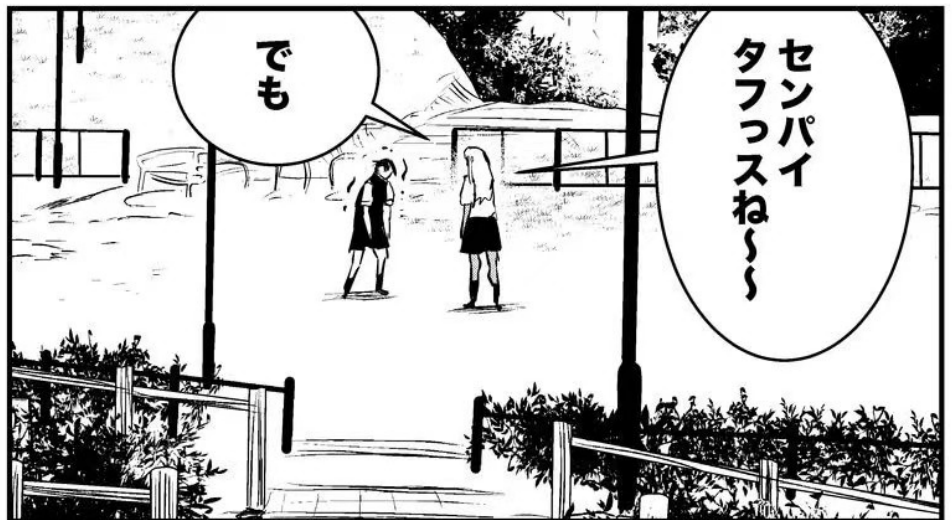








もう脚
ガクガクッスよ



でも

センパイ
タフッスね〜



しばらく入院かな



終わりにしましょ

